

2025年12月期 第1四半期決算短信〔I F R S〕（連結）

2025年5月13日

上場会社名 キリンホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 2503 URL <https://www.kirinholdings.com>
代表者（役職名）代表取締役社長C00（氏名）南方 健志
問合せ先責任者（役職名）財務戦略部長（氏名）松尾 英史（TEL）03-6837-7015
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		事業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期第1四半期	545,852	8.8	36,311	9.9	38,265	△13.4	27,385	△16.0	24,338	△6.0	△18,968	—
2024年12月期第1四半期	501,762	11.4	33,055	△1.5	44,172	120.2	32,586	187.7	25,900	363.3	75,723	119.6

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円	銭	円	銭
2025年12月期第1四半期	30	05	30	05
2024年12月期第1四半期	31	98	31	98

（参考）営業利益 2025年12月期第1四半期 30,993百万円（0.5％） 2024年12月期第1四半期 30,829百万円（180.5％）

※事業利益とは事業の経常的な業績を測る利益指標で、売上収益から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除して計算しております。

（2）連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	％	％
2025年12月期第1四半期	3,259,085		1,385,931		1,105,031		33.9	
2024年12月期	3,354,159		1,533,714		1,181,525		35.2	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	35.50	—	35.50	71.00
2025年12月期	—				
2025年12月期(予想)		37.00	—	37.00	74.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		事業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	
通期	2,440,000	4.3	212,000	0.5	230,000	64.6	176,000	105.1	150,000	157.7	円 銭 185.20

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

（参考）営業利益 2025年12月期 192,000百万円（53.2％）

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注) 詳細は、添付資料13ページ「(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 会計方針の変更」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期 1 Q	914,000,000株	2024年12月期	914,000,000株
② 期末自己株式数	2025年12月期 1 Q	104,008,652株	2024年12月期	104,005,638株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期 1 Q	809,992,823株	2024年12月期 1 Q	809,872,284株

(注) 期末自己株式数には、役員報酬BIP信託口が保有する当社株式を含めております (2025年12月期 1 Q 1,761,412株、2024年12月期 1,761,412株)。また、当社信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社及び当グループが本資料の発表日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、当社及び当グループの事業をとりまく経済情勢、市場動向、為替レートなどに関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知おきください。
- (2) 決算補足説明資料・本日開催の決算説明会における資料は本日 5 月 13 日 (火) に、また、主な質疑応答については速やかに、当社ホームページに掲載いたします。
(当社ホームページURL)
<https://www.kirinholdings.com/jp/investors/>

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 業績の状況	2
(2) 財政状態の分析	4
(3) キャッシュ・フローの状況	4
2. 要約四半期連結財務諸表	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報等)	14
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 業績の状況

連結業績サマリー

- ・当第1四半期連結累計期間（2025年1月1日～2025年3月31日）の連結売上収益は、キリンビールが本年4月に実施する価格改定前の仮需の影響によって酒類事業が増収となったほか、日本及び北米の価格改定によって単価が改善した飲料事業、前年に連結子会社化したファンケルの寄与によりヘルスサイエンス事業も増収となりました。医薬事業が前年のAPAC事業譲渡の影響を受けて減収となったものの、その他の事業でカバーをし、全体では前年から増収となりました。
- ・連結事業利益[※]は、医薬事業が研究開発費を前年より多く投下したことや前年のAPAC事業譲渡に伴う売上減の影響を受けて減益となったものの、各事業の順調な進捗とファンケルの年初からの寄与により、全体で増益となりました。
- ・親会社の所有者に帰属する四半期利益は、事業利益が増加したものの、その他の営業収益及び金融収益が減少した結果、減益となりました。
- ・当第1四半期連結累計期間の為替影響について、対米ドル平均為替レート（1米ドル当たり151.21円）は前年同期比1.33円の円安、対豪ドル平均為替レート（1豪ドル当たり94.36円）は前年同期比3.52円の円高となり、前年同期比の為替の影響は、売上収益では約0.5億円の減収要因、事業利益では約1億円の減益要因となりました。

※ 事業利益：事業の経常的な業績を測る利益指標で、売上収益から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除して計算

連結売上収益	5,459億円（前年同期比	8.8%増）
連結事業利益	363億円（前年同期比	9.9%増）
連結税引前四半期利益	383億円（前年同期比	13.4%減）
親会社の所有者に帰属する四半期利益	243億円（前年同期比	6.0%減）
（参考）		
EPS	30円（前年同期比	6.0%減）

セグメント別の業績は次のとおりです。

<酒類事業>

キリンビール

- ・売上収益は、4月の価格改定前の仮需の影響もあり、全カテゴリーが前年を上回り増収となりました。中でも、主力の「一番搾り」ブランド、「淡麗グリーンラベル」及び「本麒麟」が計画を上回り好調に推移しています。
- ・事業利益は、仮需による数量増に伴う限界利益増に加え、市況影響による原材料費減などもあり、増益となりました。

Lion

- ・売上収益は、現地通貨ベースでは増収、円ベースでは減収となりました（前年同期比 現地通貨ベース+0.7%、円ベース△3.0%）。
- ・豪州では、消費マインド、消費支出にマイナス影響となる外部環境の継続、前年のイースター特需の反動などにより、やや減収となりました。一方、「Hahn」及び「Stone&Wood」の販売数量が前年を上回り好調に推移し、ビール全体としても販売数量は微減に留まり、市場を上回って推移しました。
- ・北米では、クラフトビール市場が縮小する中、引き続き「Voodoo Ranger」ブランドの販売が堅調に推移したことや新商品の増分が寄与したほか、豪米の為替変動のプラス影響もあり増収となりました。
- ・事業利益は、販売状況を加味した費用のコントロールに加えて、費用の投下タイミングの影響もあり、現地通貨ベース及び円ベースいずれも増益となりました（前年同期比 現地通貨ベース+80.7%、円ベース+74.2%）。

酒類事業連結売上収益	2,490億円（前年同期比	4.5%増）
酒類事業連結事業利益	270億円（前年同期比	46.3%増）

<飲料事業>

キリンビバレッジ

- ・売上収益は、前年10月の価格改定によって単価が上昇し、増収となりました。
- ・事業利益は、原材料費等のコストアップの影響を受けて、やや減益となりました。

Coke Northeast

- ・売上収益は、価格マネジメントによって単価が上昇し、増収となりました。（前年同期比 現地通貨ベース+4.5%、円ベース+5.4%）。
- ・事業利益は、オペレーションの効率化で人件費増加の影響を抑えたものの、コスト増によりやや減益となりました。（前年同期比 現地通貨ベース△3.2%、円ベース△2.4%）。

飲料事業連結売上収益	1,272億円（前年同期比	4.6%増）
飲料事業連結事業利益	117億円（前年同期比	4.6%減）

<医薬事業>

- ・売上収益は、CrysvitaとPoteligeoの販売が前年を上回り好調に推移したことや、為替変動のプラス影響があった一方で、日本における薬価改定や、前年のAPAC事業譲渡に伴う売上減少の影響を受け、やや減収となりました。
- ・事業利益は、期初計画通り研究開発費を前年より多く投下したことや、APAC事業譲渡に伴う売上減少の影響を受け、減益となりました。

医薬事業連結売上収益	1,047億円（前年同期比	0.8%減）
医薬事業連結事業利益	96億円（前年同期比	42.1%減）

<ヘルスサイエンス事業>

ファンケル[※]

- ・売上収益は、化粧品事業において前年に国内で日焼け止めの前倒し需要があり、その反動の影響があったものの、海外において前年から延期した分の出荷があったことや、「アテニア」の好調により増収となりました。栄養補助食品事業では、国内が前年に大型施策を実施していた反動で減収となりましたが、海外ではセルアウトが好調に推移し増収となりました。
- ・事業利益は、売上収益の増加に伴う粗利の増加に加え、販促費の投下タイミングの影響もあり増益となりました。
- ・また、スクィーズアウトによりファンケル株式を追加取得し100%化が完了しています。

※ ファンケルは前年第4四半期から損益取込みを開始しております。上記はファンケルの前年同期の実績と比較した当第1四半期連結累計期間の経過を参考までに記載しています。

Blackmores

- ・売上収益は、全体では新商品の上市や適切なプロモーションの実施、各地域での値上げ等の取り組みにより、増収となりました。
- ・豪州・NZでは、値上げや昨年からの好調なモメンタムが継続し、増収となりました。
- ・東南アジア・韓国では、複数の主力商品の販売が好調だったため、増収となりました。
- ・中国では、引き続き厳しい競争環境が続いているものの、輸出チャネルにおいてディストリビューターとの協力拡大により、増収となりました。
- ・事業利益は、昨年原材料費の大幅な高騰があったものの、昨年同期首時点で保有する旧単価の在庫影響により、一時的に原価率が抑えられていた反動等で微減となりました。

ヘルスサイエンス事業連結売上収益	608億円（前年同期比	90.5%増）
ヘルスサイエンス事業連結事業利益	32億円（前年同期は17億円の損失）	

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前年度末が休日であったこと等による営業債権及びその他の債権の減少等により、前年度末に比べ951億円減少して3兆2,591億円となりました。

資本は、㈱ファンケルの追加取得に伴う非支配持分の減少及び為替変動の影響等によるその他の資本の構成要素の減少等により、前年度末に比べ1,478億円減少して1兆3,859億円となりました。

負債は、新規発行によるコマーシャルペーパーの増加等により、前年度末に比べ527億円増加して1兆8,732億円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前年度末に比べ146億円増加(会計方針の変更による減少107億円を除く)の1,225億円となりました。活動毎のキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の収入は前年同期に比べ296億円減少の102億円となりました。運転資金の流入は149億円減少、法人所得税の支払額は75億円減少しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の支出は前年同期に比べ199億円減少の454億円となりました。有形固定資産及び無形資産の取得については前年同期に比べ150億円増加の370億円を支出、また、預託金の預入により77億円を支出しました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の収入は前年同期に比べ235億円増加の582億円となりました。非支配持分からの子会社持分取得により782億円、配当金の支払により356億円、社債の償還により150億円の支出がありました。一方、コマーシャル・ペーパーの増加により2,019億円の収入がありました。

2. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	674,028	674,553
のれん	501,480	484,205
無形資産	659,561	642,745
持分法で会計処理されている投資	216,205	229,795
その他の金融資産	103,360	110,489
その他の非流動資産	48,570	50,164
繰延税金資産	109,761	106,343
非流動資産合計	2,312,966	2,298,293
流動資産		
棚卸資産	358,985	357,577
営業債権及びその他の債権	502,880	417,562
その他の金融資産	8,570	10,306
その他の流動資産	52,142	52,832
現金及び現金同等物	118,617	122,515
流動資産合計	1,041,193	960,792
資産合計	3,354,159	3,259,085

(単位：百万円)

	前年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資本		
資本金	102,046	102,046
資本剰余金	9,497	—
利益剰余金	1,130,931	1,105,442
自己株式	△251,376	△251,383
その他の資本の構成要素	190,427	148,926
親会社の所有者に帰属する持分	1,181,525	1,105,031
非支配持分	352,189	280,900
資本合計	1,533,714	1,385,931
負債		
非流動負債		
社債及び借入金	779,583	754,661
その他の金融負債	87,398	80,669
退職給付に係る負債	54,986	54,751
引当金	7,100	7,890
持分法適用に伴う負債	10,458	11,184
その他の非流動負債	13,622	11,378
繰延税金負債	123,233	118,806
非流動負債合計	1,076,380	1,039,340
流動負債		
社債及び借入金	77,986	279,924
営業債務及びその他の債務	364,265	292,875
その他の金融負債	54,935	51,324
未払法人所得税	11,428	12,321
引当金	12,214	15,940
その他の流動負債	223,238	181,431
流動負債合計	744,065	833,814
負債合計	1,820,445	1,873,153
資本及び負債合計	3,354,159	3,259,085

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上収益	501,762	545,852
売上原価	273,013	292,274
売上総利益	228,749	253,578
販売費及び一般管理費	195,694	217,266
事業利益	33,055	36,311
その他の営業収益	3,231	1,129
その他の営業費用	5,457	6,447
営業利益	30,829	30,993
金融収益	6,667	1,662
金融費用	2,341	3,084
持分法による投資利益	9,017	8,693
税引前四半期利益	44,172	38,265
法人所得税費用	11,586	10,879
四半期利益	32,586	27,385
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	25,900	24,338
非支配持分	6,686	3,047
四半期利益	32,586	27,385
1株当たり四半期利益(円)		
基本的1株当たり四半期利益	31.98	30.05
希薄化後1株当たり四半期利益	31.98	30.05

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期利益	32,586	27,385
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融商品の公正価値の 純変動	1,235	193
確定給付制度の再測定	127	△0
持分法によるその他の包括利益	△684	△80
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	44,385	△56,257
キャッシュ・フロー・ヘッジ	2,715	△781
持分法によるその他の包括利益	△4,641	10,573
その他の包括利益合計	43,137	△46,353
四半期包括利益	75,723	△18,968
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	61,628	△17,236
非支配持分	14,096	△1,732
四半期包括利益	75,723	△18,968

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融商品の公正価値の純変動	確定給付制度の再測定
2024年1月1日残高	102,046	21,150	1,128,541	△251,675	19,119	—
四半期利益	—	—	25,900	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	850	△616
四半期包括利益	—	—	25,900	—	850	△616
剰余金の配当	—	—	△29,560	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△7	—	—
自己株式の処分	—	△0	—	1	—	—
連結範囲の変更	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	101	—	—	—	—
支配の喪失を伴わない子会社に対する所有者持分の変動	—	△2,189	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△354	—	△262	616
所有者との取引額合計	—	△2,088	△29,914	△7	△262	616
2024年3月31日残高	102,046	19,061	1,124,528	△251,681	19,707	—

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計		
	在外営業活動体の 換算差額	キャッシュ・ フロー・ヘッジ	合計			
2024年1月1日残高	114,662	△1,263	132,519	1,132,581	293,257	1,425,838
四半期利益	－	－	－	25,900	6,686	32,586
その他の包括利益	33,617	1,876	35,727	35,727	7,410	43,137
四半期包括利益	33,617	1,876	35,727	61,628	14,096	75,723
剰余金の配当	－	－	－	△29,560	△7,217	△36,778
自己株式の取得	－	－	－	△7	－	△7
自己株式の処分	－	－	－	0	－	0
連結範囲の変更	－	－	－	－	3	3
株式に基づく報酬取引	－	－	－	101	△28	73
支配の喪失を伴わない 子会社に対する 所有者持分の変動	－	－	－	△2,189	△5,204	△7,393
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	－	－	354	－	－	－
所有者との取引額合計	－	－	354	△31,655	△12,447	△44,102
2024年3月31日残高	148,279	614	168,599	1,162,553	294,906	1,457,459

当第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融商品の公正価値の純変動	確定給付制度の再測定
2025年1月1日残高	102,046	9,497	1,130,931	△251,376	19,676	—
会計方針の変更による影響額	—	—	△10,731	—	—	—
会計方針の変更を反映した2025年1月1日残高	102,046	9,497	1,120,200	△251,376	19,676	—
四半期利益	—	—	24,338	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	306	△81
四半期包括利益	—	—	24,338	—	306	△81
剰余金の配当	—	—	△28,755	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△6	—	—
株式に基づく報酬取引	—	83	—	—	—	—
支配の喪失を伴わない子会社に対する所有者持分の変動	—	△19,849	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△73	—	△7	81
利益剰余金から資本剰余金への振替	—	10,269	△10,269	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△9,497	△39,097	△6	△7	81
2025年3月31日残高	102,046	—	1,105,442	△251,383	19,975	—

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計		
	在外営業活動体の 換算差額	キャッシュ・ フロー・ヘッジ	合計			
2025年1月1日残高	169,311	1,440	190,427	1,181,525	352,189	1,533,714
会計方針の変更による影響額	—	—	—	△10,731	—	△10,731
会計方針の変更を反映した 2025年1月1日残高	169,311	1,440	190,427	1,170,794	352,189	1,522,984
四半期利益	—	—	—	24,338	3,047	27,385
その他の包括利益	△41,009	△791	△41,575	△41,575	△4,778	△46,353
四半期包括利益	△41,009	△791	△41,575	△17,236	△1,732	△18,968
剰余金の配当	—	—	—	△28,755	△6,810	△35,565
自己株式の取得	—	—	—	△6	—	△6
株式に基づく報酬取引	—	—	—	83	△27	55
支配の喪失を伴わない 子会社に対する 所有者持分の変動	—	—	—	△19,849	△62,720	△82,569
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	73	—	—	—
利益剰余金から 資本剰余金への振替	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	73	△48,527	△69,558	△118,085
2025年3月31日残高	128,302	649	148,926	1,105,031	280,900	1,385,931

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	44,172	38,265
減価償却費及び償却費	21,370	25,379
減損損失	503	255
受取利息及び受取配当金	△3,836	△1,608
持分法による投資利益	△9,017	△8,693
支払利息	2,189	2,313
有形固定資産及び無形資産売却益	△2,406	△21
有形固定資産及び無形資産除売却損	600	371
営業債権の増減額(△は増加)	49,753	74,098
棚卸資産の増減額(△は増加)	△14,531	△7,201
営業債務の増減額(△は減少)	△10,692	△41,208
未払酒税の増減額(△は減少)	△7,288	△23,360
預り金の増減額(△は減少)	△5,229	△2,701
その他	△21,015	△47,258
小計	44,574	8,631
利息及び配当金の受取額	9,533	8,156
利息の支払額	△1,293	△1,122
法人所得税の支払額	△12,931	△5,422
営業活動によるキャッシュ・フロー	39,883	10,243

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△21,999	△36,960
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	3,330	121
投資の取得による支出	△509	△260
投資の売却による収入	679	60
子会社株式の取得による支出	△45,062	—
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	△5	—
預託金の預入による支出	—	△7,700
その他	△1,779	△665
投資活動によるキャッシュ・フロー	△65,345	△45,405
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	1,752	81
コマーシャル・ペーパーの純増減額	19,000	201,923
長期借入による収入	101,977	—
長期借入金の返済による支出	△21,664	△10,000
社債の償還による支出	—	△15,000
新株予約権付社債の償還による支出	△9,621	—
リース負債の返済による支出	△4,831	△5,030
自己株式の取得による支出	△14	△6
子会社の自己株式の取得による支出	△7,404	△2
子会社の自己株式取得のための預託金の増減額(△は増加)	△7,599	—
配当金の支払額	△29,560	△28,755
非支配持分への配当金の支払額	△7,215	△6,801
非支配持分からの子会社持分取得による支出	—	△78,166
その他	△72	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	34,748	58,242
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,523	△8,452
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	19,808	14,629
現金及び現金同等物の期首残高	131,399	118,617
会計方針の変更による影響額	—	△10,731
会計方針の変更を反映した現金及び現金同等物の期首残高	—	107,886
現金及び現金同等物の四半期末残高	151,207	122,515

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IAS第21号「外国為替レート変動の影響」の改訂)

当社グループは当第1四半期連結会計期間より、IAS第21号「外国為替レート変動の影響」(2023年8月改訂)を適用しております。

この改訂の概要は、通貨が他の通貨と交換できるかどうかの評価、並びに交換できない場合に使用すべき為替レート及び提供すべき開示の決定における一貫したアプローチを明確化したものになります。この明確化されたアプローチに従って、以下の取引に係る現金及び現金同等物の換算に用いる外国為替レートについて変更しております。

① 対象となる通貨及び当該通貨が交換可能ではなくなった原因

当社の連結子会社であるKirin Holdings Singapore Pte, Ltd. は、日本国内の銀行の在ミャンマー支店においてミャンマーチャット預金残高を保有しております。2022年4月にミャンマー中央銀行から外貨兌換規制が発令され、ミャンマーチャットから外貨への両替及び海外送金には当局の承認が必要となり、同社が保有する一部の現金及び現金同等物の利用に一定の制限を受けております。

② 影響する資産及び負債の帳簿価額

(単位：千チャット)

	当期首 (2025年1月1日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
現金及び現金同等物	343,431,695	343,431,695

③ 使用した直物為替レート

従来、ミャンマー中央銀行が定める公定レートを当該現金及び現金同等物の換算に用いていましたが、ミャンマー中央銀行が通貨交換の際に提示するMarket Trading Rateを用いる方法に変更しております。

なお、当第1四半期連結会計期間の期首に適用した為替レートは、3,588MMK/USDです。

当社グループでは、経過措置に従って、適用開始時の影響額を当第1四半期連結会計期間の利益剰余金期首残高の修正として認識しております。これにより、当第1四半期連結会計期間の要約四半期連結持分変動計算書における利益剰余金の2025年1月1日残高及び要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書における現金及び現金同等物の期首残高が、「会計方針の変更による影響額」としてそれぞれ10,731百万円減少しております。

(セグメント情報等)

① 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定しており、「酒類事業」「飲料事業」「医薬事業」「ヘルスサイエンス事業」の4つを報告セグメントとしております。

「酒類事業」は、麒麟麦酒㈱、LION PTY LTDを中心に、国内外における酒類事業を行っております。国内においては、麒麟麦酒㈱を中心に、ビール類、低アルコール飲料等の製造・販売を行っております。海外においては、主にLION PTY LTDを統括会社とした、オセアニア地域におけるビール、低アルコール飲料等の製造・販売、並びに北米におけるクラフトビール等の製造・販売を行っております。

「飲料事業」は、キリンビバレッジ㈱、Coca-Cola Beverages Northeast, Inc.を中心に、国内外における清涼飲料事業を行っております。キリンビバレッジ㈱は日本における清涼飲料の製造・販売を行っております。Coca-Cola Beverages Northeast, Inc.は、米国におけるコカ・コーラ製品の製造・販売を行っております。

「医薬事業」は、協和キリン㈱を中心に国内外における医薬品の製造・販売を行っております。

「ヘルスサイエンス事業」は、㈱ファンケル、Blackmores Limited、協和発酵バイオ㈱を中心に国内外における健康食品事業等を行っております。㈱ファンケルは、国内を中心に化粧品・健康食品の研究開発、製造・販売を行っております。Blackmores Limitedは、豪州、東南アジア、中国を中心にサプリメント等の栄養補助食品の製造・販売を行っております。協和発酵バイオ㈱は、医薬品原料、各種アミノ酸、健康食品の製造・販売を行っております。なお、当社は、前第3四半期連結会計期間に㈱ファンケルを連結子会社化し、「ヘルスサイエンス事業」に区分し開示しております。

また、セグメント情報における会計方針は、当社の要約四半期連結財務諸表における会計方針と概ね同一であります。

セグメント間売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

② 報告セグメントに関する情報

各報告セグメントに関連する情報を以下に記載しております。

前第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	調整額 (注2)	連結
	酒類	飲料	医薬	ヘルス サイエンス			
外部顧客からの 売上収益	238,173	121,510	105,503	31,929	4,647	—	501,762
セグメント間 売上収益	379	645	67	726	15,345	△17,162	—
計	238,553	122,155	105,569	32,655	19,992	△17,162	501,762
セグメント利益 (△は損失) (注3)	18,431	12,245	16,516	△1,652	△158	△12,326	33,055
					その他の営業収益		3,231
					その他の営業費用		5,457
					金融収益		6,667
					金融費用		2,341
					持分法による投資利益		9,017
					税引前四半期利益		44,172

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益(△は損失)の調整額は、主にセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない費用が含まれております。当該費用は、主に純粋持株会社である当社のグループ管理費用及び機能分担子会社において発生する複数の報告セグメントに関わる管理費用であります。

3 セグメント利益(△は損失)は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除した金額である事業利益を使用しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	調整額 (注2)	連結
	酒類	飲料	医薬	ヘルス サイエンス			
外部顧客からの 売上収益	248,975	127,158	104,655	60,816	4,247	—	545,852
セグメント間 売上収益	469	677	70	1,970	16,144	△19,330	—
計	249,443	127,836	104,725	62,787	20,391	△19,330	545,852
セグメント利益 (△は損失) (注3)	26,962	11,683	9,556	3,202	△145	△14,947	36,311
					その他の営業収益		1,129
					その他の営業費用		6,447
					金融収益		1,662
					金融費用		3,084
					持分法による投資利益		8,693
					税引前四半期利益		38,265

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益(△は損失)の調整額は、主にセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない費用が含まれております。当該費用は、主に純粋持株会社である当社のグループ管理費用及び機能分担子会社において発生する複数の報告セグメントに関わる管理費用であります。

3 セグメント利益(△は損失)は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除した金額である事業利益を使用しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

(非支配持分からの子会社持分取得による支出)

当第1四半期連結会計期間において、当社は連結子会社である㈱ファンケル(以下「ファンケル」という。)の株式を追加取得いたしました。

これは、2024年12月20日付で効力が発生した株式併合により生じた1株に満たない端数となる株式に関して、2025年3月14日付で当社に対する売却が完了したものであり、また、同日付における当該株式の譲渡契約の効力発生をもって当社のファンケルに対する所有持分が75.62%から100%になりました。

なお、取得対価は現金82,573百万円(未払金を含む)であり、要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書の「非支配持分からの子会社持分取得による支出」として表示しております。また、追加取得に伴い非支配株主持分が62,814百万円、資本剰余金が19,814百万円減少しております。

2025年第1四半期決算 補足説明資料

1. 連結財政状態計算書サマリー
2. 連結損益計算書サマリー・指標等
3. 売上収益明細
4. 利益増減明細
5. 連結キャッシュ・フロー計算書サマリー

麒麟ホールディングス株式会社
2025年5月13日

1. 連結財政状態計算書サマリー

(単位：億円)

	2025年 第1四半期末 (実績)	2024年 期末 (実績)	増減額	増減内容
非流動資産	22,983	23,130	△147	
有形固定資産	6,746	6,740	5	
のれん	4,842	5,015	△173	
無形資産	6,427	6,596	△168	
持分法で会計処理されている投資	2,298	2,162	136	
その他	2,670	2,617	53	
流動資産	9,608	10,412	△804	
棚卸資産	3,576	3,590	△14	
営業債権及びその他の債権	4,176	5,029	△853	・前年度末が休日による減少 他
現金及び現金同等物	1,225	1,186	39	
その他	631	607	24	
資産合計	32,591	33,542	△951	
資本	13,859	15,337	△1,478	
親会社所有者帰属持分	11,050	11,815	△765	・為替影響による減少 他
非支配持分	2,809	3,522	△713	・ファンケル追加取得による減少 他
非流動負債	10,393	10,764	△370	
社債及び借入金	7,547	7,796	△249	
その他	2,847	2,968	△121	
流動負債	8,338	7,441	897	
社債及び借入金	2,799	780	2,019	・CP新規発行による増加 他
営業債務及びその他の債務	2,929	3,643	△714	・前年度末が休日による減少 他
その他	2,610	3,018	△408	
負債合計	18,732	18,204	527	
資本負債合計	32,591	33,542	△951	

2. 連結損益計算書サマリー・指標等

(1) 損益計算書サマリー・指標等

(単位：億円)

	2025年 第1四半期 (実績)	2024年 第1四半期 (実績)	対前年増減	
売上収益	5,459	5,018	441	8.8%
売上総利益	2,536	2,287	248	10.9%
販売費及び一般管理費	2,173	1,957	216	11.0%
事業利益	363	331	33	9.9%
その他の営業収益	11	32	△21	△65.1%
その他の営業費用	64	55	10	18.1%
営業利益	310	308	2	0.5%
金融収益	17	67	△50	△75.1%
金融費用	31	23	7	31.7%
持分法による投資利益	87	90	△3	△3.6%
税引前四半期利益	383	442	△59	△13.4%
法人所得税費用	109	116	△7	△6.1%
四半期利益	274	326	△52	△16.0%
親会社の所有者	243	259	△16	△6.0%
非支配持分	30	67	△36	△54.4%
E P S	30円	32円	△2円	△6.0%
売上収益(酒税抜き)	4,705	4,405	300	6.8%
事業利益率(対酒税抜き)	7.7%	7.5%		
平準化E B I T D A	627	552	75	13.7%
グロスD E レシオ	0.94倍	0.65倍		

平準化E B I T D A＝事業利益＋減価償却費及び償却費(※)＋持分法適用会社からの受取配当金
 ※減価償却費及び償却費は使用権資産の償却費を除いております。

(2) 主要在外会社損益の為替換算レート

(単位：円)

	2025年 第1四半期 (実績)	2024年 第1四半期 (実績)
Lion・Blackmores(豪ドル)	94.36	97.88
Four Roses・Coke Northeast(米ドル)	151.21	149.88

(3) 主要在外会社損益の取込期間

	2025年第1四半期 (実績)	2024年第1四半期 (実績)
San Miguel Brewery	2024年10月～2024年12月	2023年10月～2023年12月

3. 売上収益明細

(単位：億円)

	2025年 第1四半期 (実績)	2024年 第1四半期 (実績)	対前年増減	
売上収益	5,459	5,018	441	8.8%
酒類	2,490	2,382	108	4.5%
麒麟ビール	1,535	1,406	129	9.2%
Lion	675	696	△21	△3.0%
うち豪州・NZ	457	480	△23	△4.7%
うち北米クラフト他	218	216	2	1.0%
Four Roses	61	62	△1	△1.5%
その他・内部及びセグメント間取引消去	219	218	1	0.4%
飲料	1,272	1,215	56	4.6%
麒麟ビバレッジ	573	553	20	3.5%
Coke Northeast	676	641	35	5.4%
その他・内部及びセグメント間取引消去	23	21	2	10.0%
医薬	1,047	1,055	△8	△0.8%
協和麒麟	1,047	1,056	△8	△0.8%
セグメント間取引消去	△1	△1	△0	—
ヘルスサイエンス	608	319	289	90.5%
ファンケル	270	—	270	—
Blackmores	153	147	6	3.8%
協和発酵バイオ	142	120	22	18.6%
その他・内部及びセグメント間取引消去	43	52	△9	△17.9%
その他	42	46	△4	△8.6%

<参考> 酒税売上収益

(単位：億円)

	2025年 第1四半期 (実績)	2024年 第1四半期 (実績)
麒麟ビール	934	854

4. 利益増減明細

(1) 事業利益明細

(単位：億円)

	2025年 第1四半期 (実績)	2024年 第1四半期 (実績)	対前年増減	
事業利益	363	331	33	9.9%
酒類	270	184	85	46.3%
キリンビール	154	106	49	45.9%
Lion	74	42	31	74.2%
うち豪州・NZ	49	28	21	72.9%
うち北米クラフト他	25	14	11	76.9%
Four Roses	26	23	3	12.0%
その他	15	13	3	19.5%
飲料	117	122	△6	△4.6%
キリンビバレッジ	21	24	△3	△12.5%
Coke Northeast	93	95	△2	△2.4%
その他	3	4	△0	△10.7%
医薬	96	165	△70	△42.1%
協和キリン	96	165	△70	△42.1%
ヘルスサイエンス	32	△17	49	—
ファンケル	27	—	27	—
Blackmores	9	12	△3	△26.1%
協和発酵バイオ	△3	△23	20	—
その他	△0	△5	5	—
その他	△1	△2	0	—
全社費用・セグメント間取引消去	△149	△123	△26	—

各セグメントの利益は事業利益に当社へのマネジメントフィを足し戻した金額であるマネジメントフィ控除前事業利益を使用しております。

(2) その他の営業収益・その他の営業費用

(単位：億円)

	2025年 第1四半期 (実績)	2024年 第1四半期 (実績)	対前年増減
その他の営業収益	11	32	△21
有形固定資産及び無形資産売却益	0	24	△24
その他	11	8	3
その他の営業費用	64	55	10
減損損失	3	5	△2
事業構造改善費用	12	3	9
有形固定資産及び無形資産除売却損	6	7	△1
その他	44	40	4

(3) 金融収益・金融費用・持分法による投資利益 等

(単位：億円)

	2025年 第1四半期 (実績)	2024年 第1四半期 (実績)	対前年増減
金融収益	17	67	△50
受取利息	16	36	△20
受取配当金	1	3	△2
為替差益(純額)	—	27	△27
その他	1	1	△1
金融費用	31	23	7
支払利息	23	22	1
為替差損(純額)	7	—	7
その他	1	2	△1
持分法による投資利益	87	90	△3
サンミゲルビール	93	74	20
その他	△6	17	△23

5. 連結キャッシュ・フロー計算書サマリー

(単位：億円)

	2025年 第1四半期 (実績)	2024年 第1四半期 (実績)	対前年増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	102	399	△296
税引前四半期利益	383	442	△59
減価償却費及び償却費	254	214	40
その他	△534	△257	△277
投資活動によるキャッシュ・フロー	△454	△653	199
有形固定資産及び無形資産の取得	△370	△220	△150
その他	△84	△433	349
財務活動によるキャッシュ・フロー	582	347	235
有利子負債の増減額	1,770	1,011	759
配当金の支払額	△356	△368	12
その他	△832	△295	△537
換算差額	△85	105	△190
現金及び現金同等物の増減額	146	198	△52
会計方針の変更による影響額(注)	△107	—	△107

(注) 現金及び現金同等物の期首残高を減少させており、「現金及び現金同等物の増減額」に含めておりません。